

【主題】 地域の未来は私たちが創る！『まちづくり会社中条中学校社』の挑戦

【副題】 多様なステークホルダーと共に創る学校と地域のWell-Being

胎内市立中条中学校

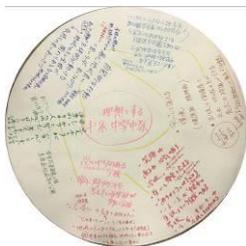
校長 丹後 直子

1 コミュニティー・スクール

胎内市教育の基本理念「教育は人をつくり、地域をつくる崇高な営み」のもと地域とともに歩む学校づくりを目指し、胎内市立小中学校はすべてコミュニティー・スクールとなった。令和2年度初からコミュニティー・スクールに指定された当校では、学校運営協議会の設置と地域学校協働活動を推進し充実に努めている。学校運営協議会では、委員と教職員、生徒とで熟議を行って目指す生徒の姿を明確にし、それを教育課程に位置付けている。

＜コミュニティー・スクールで目指す生徒像＞

- 地域と積極的に関わる生徒
- 自分や学校、地域の良さが分かり発信できる生徒
- 明るく元気で、自分も他人も大切にす生徒



【生徒、教職員、地域住民による熟議】

2 地域学校協働活動の推進

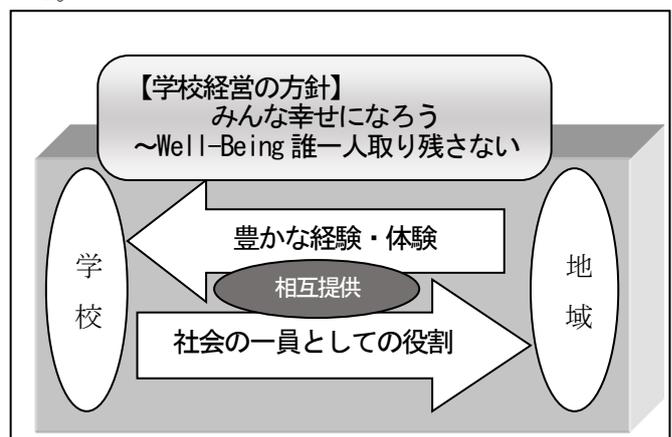
(1) 地域コーディネーターの役割

学校運営協議会と共にコミュニティー・スクール推進の柱となるのは、地域学校協働活動である。当校には「地域コーディネーター」が2人配置され、学校と地域の橋渡しをしている。地域の情報に詳しく住民とのつながりが深い上に、かつて保護者でもあったことか

ら生徒への愛情や教育活動への関心、熱意に溢れる人材である。当校の地域学校協働活動は、この地域コーディネーターを中心とした、地域愛の深い住民に支えられている。地域コーディネーターの各種業務の中でも、とりわけ学校教育活動に係る地域人材の発掘と支援の依頼等、活動の事前事後に深く携わっている。熟議で共有した『目指す生徒像』を踏まえ、コーディネーター自身が学習活動の目的や意義、効果を十分理解し活動の企画運営に主体的に参画している。

(2) 地域学校協働活動の目指すもの

当校は地域学校協働活動をとおして、「地域と学校のWin-Win の関係の構築を目指している。今年度初の学校運営協議会で、学校経営の方針である「みんな幸せになろう」が承認され、生徒や保護者、教職員、地域住民それぞれの思いや願いを互いに大切にし、学校は誰一人取り残さず「Well-Being」すなわち「幸せ」や「よりよく生きること」を目指すこととした。学校と地域社会それぞれのWell-Beingを考えると、学校が地域に求めることと、地域が学校に期待することを整理し、「特別活動」や「総合的な学習の時間」の枠組みの中で「できることから始めよう」と取り組んだ。また、多様なステークホルダー（利害関係者）と協働して、学校と地域双方の課題を解決しようとする意図もあった。みんな幸せになるという目的のために、それぞれにできることを提案し実行に移していくことにした。



3 「総合的な学習の時間」3年間の積み上げ

総合的な学習の時間の学習テーマを「探ろう よりよい生き方を求めて」と定めて体験をとおした学習を進めている。柱となる学習は3年間で段階的に深化するよう構成した。始めに広い視野視点で多様な世界と出会わせ、次第に身近な問題課題へと収束して、最後は生徒一人一人が持続可能な社会の創り手として自分の住む地域社会へ提言していく。

まず1学年では、「職」という未知の世界に出会わせる。様々な職の特長や気概を持って働く人々から直接話を伺うという、生徒にとって新鮮でインパクトのある出会いで視野を広げる。

2学年では胎内市全体に目を向け、自然や産業、食や観光など多様なテーマでフィールドワークをした。また働く方々を招いて働くことの意義を伺うと共に、それぞれの仕事が抱える課題について、大人と一緒に考えて生徒に考えさせた。よさや魅力の中にも解決すべき問題や課題があり、その解決のために人は努力し続けることを体感させる。

そして3年間の集大成となる3学年では、生徒自身が育ってきた地域が持続可能な社会であり続けるために、自分たちにできることを考えさせ実行させて、地域社会へ発信していく活動に収束させていくのである。

<p>【1学年】 『胎内市1年生の職ナビゲーション』 ○18種類の事業所が出演し、胎内市内4中学校1年生と県立中条高等学校1年生が参加する。</p> <p>【2学年】 『胎内市の様々な地域のよさや魅力調査』 『職業講話』『職場体験学習』 ○胎内市のよさや魅力、働く意義を知る。</p> <p>【3学年】 『地域貢献活動』 ○持続可能で理想的な胎内市の実現のため、できることを企画・実行する。</p>
--

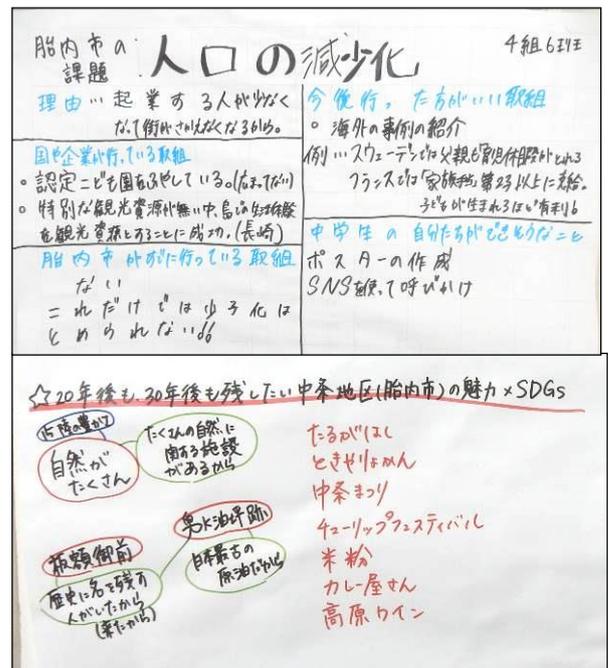
3年間いずれの活動も体験活動やフィールドワークが主体となっているため、様々なステークホルダーの参画があって初めて学習が成立する。私たちは「ふるさと愛」「地域の活性化」「持続可能な地域創造」という思いや意欲を共有し、生徒も大人も「自分には何ができるか」を主体的に考え行動に移している。

4 3学年『まちづくり会社中条中学校社』の挑戦

学校と地域の Well-Being の実現を目指す当校の様々な取組の中から、総合的な学習に時間3年間の集大成として、「地域への貢献」をテーマに取り組んだ3学年の学習について紹介する。

(1) SDGsからの出発

世界が目指すSDGs17の目標について、社会科や学級活動等でも学習してきた。3学年の学習はコロナ禍も含め世界の現状を見つめ直すこと、課題解決のための世界共通の目標SDGsが遠い世界のことでなく、私たちの生活に密接に関係していることに気付くことから始まった。SDGsを視点に、世界から日本へ、そしてふるさと胎内市へと目を移し、それぞれが抱える課題と中学生に何ができるのかを話し合い、焦点化していった。



(2) 「地域おこし」でつながるステークホルダー

生徒の願いである「20年後も、30年後も残したい胎内市中条地区の魅力」にテーマが集約される中、教職員と地域コーディネーターは、地域おこしの活動をしている団体やNPOとの連携を進めた。

各団体に依頼し、生徒に向けて講話とグループセッションを行った。大人から生徒たちへ、本学習を貫く課題「人々へ広くPRするため、皆さんならどんなことをしますか？」が提示され、それぞれが「自分たちにできること」について考えを深めていった。



【1次】胎内自然学校



探検家イザベラ・バードが昔訪れたであろう中条の町を想像しながら、歴史が残る風景を楽しむ。

まちあるきのイベントは11月に実施することにし、商品の目玉として、胎内の特産品を使った弁当を提供することにした。各クラスで生徒の興味関心を活かして役割を分担し、準備を進めた。

- <役割分担（協力団体）>
- ①ガイド班（「路地連胎内」）
 - ②We b・フライヤー班（NPO法人「ヨリシロ」）
 - ③フード班（「南都屋」「常の家」「魚太」「ときや旅館」）
 - ④フォト班（「ティーネットエンタープライズ」）
 - ⑤PVプロモーションビデオ班（胎内市観光協会）

協力する団体の輪はさらに広がった。ガイド班は「路地連胎内」の力強い協力を得て、中条の歴史をたどってコース開発を進め、歴史的建造物や「なまこ壁」の蔵の多さ、網の目のように張り巡らされた水路、今も残る地名の由来など、地域の協力なしには分からない中条の魅力に驚きの連続だった。

「ヨリシロ」の指導を受けながらWe bページやポスター、フライヤーが完成していった。デジタルコンテンツの活用や、補助金制度の利用といった金銭的な面など、教職員では到底解決できない課題を地域の様々な力を利用して実現した。また、イベント企画に欠かせないパンフレットの作成から参加者の募集・集約、アンケートの実施、礼状の作成まで、プロの視点から様々な指導をいただいた。



【弁当開発会議を繰り返して…】

地域の食を発信する弁当の開発は、まちあるきをさらに魅力的なものにした。地域の特産や名

物料理と言われても、生徒の知識は乏しい。そこで、中条の料亭割烹各店に協力を依頼したところ、大変喜んで協力くださった。何度も学校へ足を運び、試作や試食を繰り返して、旬の食材満載の弁当が完成した。

フォト班、PV班も、プロの視点からの指導を受け、試作を繰り返して精度を上げていった。また、We bページに載るようになると、市内外からの反響が届くようになった。協力を依頼した本町通商店街を中心にまちの活性化をめざす中学生の活動への理解と賛同、協力の声が寄せられた。市内の大学、地域おこし協力隊などの協力も得られた。

（3）「本町通商店街」に賑わいを創出せよ！

【NPO法人ヨリシロ 特設HPより】

生徒たちは考えた。自分たちに何ができるのか・・・。
 考えに考えぬいた結論は・・・
 「まちづくり会社」を立ち上げる！というもの。
 そして、3年生4クラスそれぞれが「まちあるきコース」を考え、秋の行楽シーズンに販売することになった。「売るためにはPRも必要だ！」と募集WEB、チラシなどのプロモーションも自分たちで手掛けることに。次第にこうした動きは周りの大人たちも巻き込むことに・・・。

郊外の大規模な商店に客足を奪われ活気が失われ、休日の人通りもほとんどない中条地区本町通商店街。全国的にもまちなか商店街の衰退は自治体の課題ともなっている。「本町通商店街」の賑わい創出という難題に向き合った『まちづくり会社中条中学校社』は「まちあるき」という商品を売り出すことにした。商品は、4クラスそれぞれでテーマを決め開発を進めた。

- < 1組「宿場町探検コース」>
 元宿場町・中条を、昔の面影を巡りながら周辺の小径や川筋、歴史ある建物を巡る。
- < 2組「Walking 胎内～見て、撮って、食べて、感じる本町の魅力～」>
 フォトスポットや食べ歩きスポット、『三八（さんぱち）市』、水路や歴史ある町並みをたどる。
- < 3組「水の町、中条の町、水路巡り」>
 まちのいたるところに流れる水路に着目し、心和ませる水の音と共に安らかなひとときを楽しむ。
- < 4組「誰か来て！胎内～イザベラの聖地 きになるよね～」>

(4) 教師が心に火を点け生徒が本気になったら、地域がすごいことになった

11月21日(日)はこの時期には珍しく晴天に恵まれ、事前予約で受け付けた80名近くの参加者を得て実施した。



新型コロナウイルス対策のため、生徒によるガイドは中止した。そのかわりに、生徒が作成した原稿とPVを使って、有志の大学生等のボランティアガイドの活躍で実施することができた。



当日、予期せぬ活動にさらに勇気付けられた。中学生の活動に賛同する商店が露地で「マル



シェ(市場)を開催してくれた。参加者は大いに喜び、商店では品切れが続出となった。「来年はうちにも声をかけてください。」という商店からの声もあった。この日は1日、本町通商店街に人通りが尽きず、かつての賑わいが戻ったかのようだった。

(5) アンケート結果に見る成果

【参加者の声】(%)

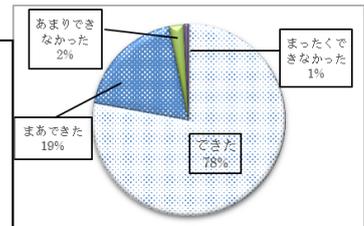
- Q1 まちあるきの感想を教えてください。
満足 95.2 やや満足 4.8 不満 0
- Q2 胎内市をまた訪れたいですか。
近いうちにまた訪れたい 67.7
機会があれば訪れたい 22.6

<感想>

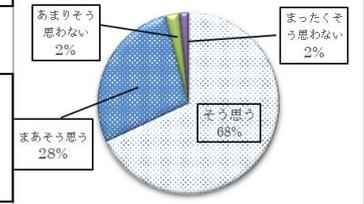
- ・すばらしかった!!PRがおしゃれでした。
- ・丁寧に準備されていたと思います。半日、とても楽しかったです。
- ・町のことをよく見て考えて、コースを作っているところがスゴイ。
- ・中学生の頑張りが地域の原動力になっています。
- ・自分の住んでいるところが一層好きになりました。

【生徒の声】

中学生の自分でも中条地区の課題を解決するため役立つことはできたか?



このあとも、胎内市に貢献していきたいか?



- いろいろ工夫したり考えたりすることが、自分の思う今回の一番の成果だったと感じました。
- 中学生でもみんなで考えて、大人の協力を得て実行すれば、大人顔負けのイベントができることが分かりました。
- この活動を通して、胎内市のきれいさや美しさが目に入るようになり、自分の町がとても誇らしく見えました。
- 胎内市の良さを伝えているうちに、理解ももっと深まって、この先も胎内市と関わっていきたいという気持ちが強くなりました。いろいろな地域の方たちからの協力から、温かさも感じられました。

今後は、アンケートにも見られる成果を受け、さらに中学生が見いだした地域の課題について、中学生の優れた感性と地域の一員としての自覚に裏付けられた社会への提言としてまとめていく予定である。

5 成果と課題

(1) 社会に開かれた教育課程

様々なステークホルダーが次々とつながっていく様子は、大人も生徒も、互いの可能性や希望を見だし、互いに信頼し合って目標に向かっていく姿だった。教職員は地元住民が少なく異動もあるため、地域に根ざした活動を進めるために「地域の力」が必要不可欠である。今年度の取組から、目標を共有し学校と地域が互いにできることに主体的に取り組む「社会に開かれた教育課程」に基づく当校の活動への自信を深めた。生徒の視野を広げ体験させ自信をもたせることが、「持続可能な社会の創り手」の育成につながると感じた。

(2) ICT、デジタルコンテンツの利活用

ホームページだけでなくインスタグラムやYouTubeといったデジタルコンテンツの活用は大変効果がある。しかし、安全性や著作権等のハードルが高く、学校としての利活用は困難である。安全に活用できるよう教育行政からの指導と一層の援助にも期待する。



中条中学校によるまちあるき、参加者募集中!

胎内市の「本町通り商店街」を舞台にした「まちあるき」が開催されます!

このまちあるき、ちょっと普通のまちあるきとは違うんです。

なんと、商店街のある地元中学生達が考案したまちあるきなんです。

考案したのは胎内市立中条中学校の3年生たち。このブログ記事ではまちあるきの概要と中学生達による取組をちょっとだけご紹介いたします。

<コースは選べる4コース>

中条中学校は4クラス。コースは1クラス1つ作ったので、4コースがあります。

☆宿場町探検コース (3年1組)

☆WALKING 胎内コース

☆水のまち、中条のまち、水路巡りコース

☆誰か来て!胎内、イザベラの聖地気になるよね〜どのコースも楽しそうです!!

<市内料亭・割烹とタッグ! 特製お弁当付き>

なんと今回のプログラムでは、お持ち帰りのお弁当もセットになります!市内の料亭・割烹さんにご協力いただき、生徒たち自身がメニューを考案しました!

お弁当のラインナップは・・・

料亭南都屋さん (宿場町探検コース)

割烹常の家さん (WALKING 胎内コース)

割烹魚太さん (水のまち、中条のまち、水路巡り)

割烹ときや旅館さん (誰か来て!胎内コース)

<PR も生徒自身で!>

今回のまちあるき、コースとお弁当を作っただけではありません!

募集ホームページ、チラシ、プロモーションビデオ、それらに必要となる写真素材の撮影など、PR活動も生徒たち自身によるもの!

どれも初めての体験ですが、体当たりで臨んでくれました。

募集ホームページは特設ページからご覧いただけますので、是非ごらんくださいませ。

チラシは、胎内市内のお店や施設に設置させていただいております。まちで見かけましたら是非手にとってくださいねー!



<本番は11月21日(日)>

まちあるきの本番は11月21日(日)です!

なんと、当日のガイドも中学生がやっちゃいますよー!

【Instagramでも発信!】

資料2 学習の成果を発揮した当日パンフレット(3組)抜粋



水の街、胎内で安らかなひとときを。
～水路をたどる街歩き～

心をませる水の音。
リラックスしたいあなたに。

胎内市立中条中学校 3年



Today's Course /

若宮神社→薬橋川→北前船→中条小付近の水路
→石積み→本町通り→若宮神社

Have a good time !

この写真は東本町にある若宮神社で撮られた川です。



周りには木がたくさんあって自然を感じられます。夕日が出る日の夕方には橋の上から夕日をきれいにみることが出来ます。川に太陽が反射してとてもきれいに見えます。



さらにこの川の近くにある若宮神社も長い歴史があり約330年前に建てられたと言われています。(若宮神社)



これは大川町にある中条中学校の近くの川で撮られた写真です。水路をたどっていくと真ん中で流れが2つに分かれ道に木が生えています。これもこの川の良さの一つでもあります

私たちの想い

SDGsとの関連

この度は、胎内の街歩きに参加していただきありがとうございました。

私達は、この街歩きを通して胎内市を知り、もっと好きになってほしいです。

今現在、胎内市は人口減少が進んでいます。

また、「村上市と新発田市の間にある街ってなんだっけ?」と言われるほど認知度が低い印象があります。

私たちが大好きな胎内市をもっと知ってほしい! 胎内市を好きになってほしい! これが私たちの想いです。

そして、今私たちを育てている胎内市が、いつまでも変わらずにいてほしいという願いがあります。皆さんご協力をお願いします

thank you very much!!

資料3 生徒考案! 料亭、割烹のお持ち帰り旬の絶品弁当「秋のオーケストラ」(2組)～生徒の手作りチラシ

秋のオーケストラ

コース名 Walking 胎内

～見て、撮って、食べて、感じる、本町の魅力～

胎内市立中条中学校 3年2組

中条中3年生の総合的な学習の時間の取り組みについて
中条中学校3年生は、本町通り(中条地区)をより活性化させようと、地域貢献活動に取り組んでいます。班ごとにSDGs(持続可能な開発目標)を視野に入れながら企画し、中条地区の企業、事業所様からご協力いただき、活動しています。

私たち2組5班は、「本町通りを発展させたい」という思いでお弁当を考えました。このたび「割烹 常の家」様からご協力いただき、秋の旬の食材をふんだんに使ったお弁当に仕上げさせていただきました。ぜひ、おいしいお弁当をお召し上がりください。



“秋のオーケストラ”に対する思い

秋を感じてもらえるようなお弁当、「食べて良かった」と思ってもらえるようなお弁当、「また中条地区に戻ってきたい」と思ってもらえるようなお弁当を提案したいという思いから、このお弁当を常の家様×中条中3年生で作りました。



お品書き

できるだけお早めにお召し上がりください

- 前菜 白あえ
柿、しめじ、人参、こんにゃくを使った白あえです。
- 焼き物 鮭の付け焼き
鮭を塩、みりん、醤油、塩を使ってこんがり焼きました。玉子焼き、ゆでた海老、さつまいもの蜜煮も添えています。
- 煮物 小煮物
紅葉型の人参を使っています。他にもれもんこんや肉、里芋、牛蒡、椎茸、銀杏なども入っています。
- 肉料理 牛肉のねぎ巻き
胎内産のねぎを牛肉で巻きすぎ焼き風に仕上げました。舞茸やあわもみ入っています。
- おひたし
箸休めです。色鮮やかでおいしいお野菜をお楽しみください。
- ご飯、香の物
今回は秋をイメージし、栗ご飯にしました。

“秋のオーケストラ”は甘い味、酸っぱい味、しょっぱい味、優しい味、と様々な味が楽しめます。お弁当の彩りも名前の通り華やかです。

五感を使って、お楽しみください!

ご指導・ご協力いただいた「割烹 常の家」様の紹介

Q&A

Qメニューについて

- A・基本、要望があれば何でも作ってくれます。
・昔から、ずっとカツ丼があります。
・オススメは、お刺身、焼き魚です。
→日によって変わります。

Q料理を作るとき工夫

A「美味しくなれ」と心を込めて作っています。

Q工夫していること

- A・Instagramやface bookを使用しています。
・料理には旬の食材を使っています。

Qコロナでの影響

- A・1階のカウンター席しか営業できなくなってしまいました。
・売上が減少してしまいました。



おいしいお弁当を食べて、中条地区の魅力をもっと感じてほしい!

QRコードを読み取り、アンケートにご協力下さい。



割烹「魚太」監修「お。Bentou」(4組)

